東北

秋田県

都道府県の PDCA サイクル確保に向けた活動の関連資料

平成28年度第一回評価・改善部会

日時:平成28年5月16日(月)17時30分~19時30分

場所:秋田大学医学部附属病院大会議室

次第

- (1) 開会
- (2) 部会長挨拶(羽渕病院長)
- (3) 本部会設立の目的と全体構想について
- (4) 委員(リーダー)、サブリーダー挨拶

議事

- 1) アンケート調査報告(本山)
- 2) 県北・県南での研修会開催について(本山)
- 3) 今後の予定について
- 4) その他

平成28年度第1回、秋田県がん診療連携協議会

評価・改善部会議事要旨

開催日時;平成28年5月16日(月)17:30~19:10

開催場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者;別紙名簿のとおり

評価・改善部会の開催にあたり、部会長の羽渕秋田大学医学部附属病院長より開催の挨 拶及び開催に至る経緯や部会の目標について説明があった。

その中で、この部会の開催は平成27年度第2回秋田県がん診療連携協議会(平成28年2月23日開催、以下「協議会」という。)において議決され、国が示す「新たながん診療提供体制」に対応して、秋田県内各がん診療連携拠点病院(以下「拠点病院」という。)等の診療機能、診療体制、診療実績、地域連携活動、患者QOL、患者満足度などを評価・共有し、PDCAサイクルを確保したうえで、秋田県全体のがん診療体制の改善を目指すこと、協議会が秋田県の作成する「第3期秋田県がん対策推進計画」に対し提言を行ってゆくためのエンジンとなる部会としたいことの解説があった。

引き続き、出席者(委員、及びサブリーダー)から、自己紹介及び挨拶があった。

議事

1)アンケート調査報告

資料1に基づき、①自施設が抱えているがん診療に対する大きな課題は何か、②その課題を解決する改善策は何か、③がん診療に関して自施設で行っている先進的な取り組みは何か、④第3期秋田県がん対策推進計画に盛り込む様な秋田県全体の共通目標は何かについて、各拠点病院等より説明があった。

複数施設に共通する課題として、常勤の放射線科医師(特に放射線治療担当医師)や病理担当医師の不足、がん地域連携クリティカルパスの普及が難しいこと、がん治療成績等の情報公開が必要であること等があった。

部会資料1の「評価・改善部会アンケート調査」及び、部会資料3の「平成26年に実施した、がん診療連携に関するアンケート調査」について、自施設を俯瞰していただきその変遷を確認する意味で、次回の評価・改善部会においてもう一度同様の調査を実施したいとの説明があった。

2) 県北・県南での研修会開催について

国の指針の中には、都道府県がん拠点病院が、地域がん拠点病院等に対し、診療機能や診療実績等の情報提供を求め、必要に応じ実地検査を行うこと等により、都道府県内のがん診療等の状況に関する情報を収集、分析、評価し、改善を図ることと記載されているた

め、これに対応するため年2回、各拠点病院等の実情について「がん診療強化研修会」 を実施したい。合わせて、部会も実施したい。

この研修会及び平成 28 年度第 3 回評価・改善部会は、平成 28 年 11 月頃に秋田大学医学部附属病院で開催し、その次は県南施設、県北施設、大学以外の中央施設と順次実施することが提案され承認された。

3) 今後の予定について

平成 28 年度第1回協議会が、平成 28 年 7 月 25 日 (月) 1 7 : 3 0 から予定されている ため、平成 28 年度第2回評価・改善部会の開催を平成 28 年 7 月 25 日 (月) 1 5 : 0 0 か ら開催したい。

これまでは各拠点病院等からの協議会への参加は施設長のみであったが、今後は評価・ 改善部会の委員やサブリーダーの皆様にも協議会に出席し積極的な意見を出していただき たい。実際にがん診療に携わる先生方や関係者に協議会へ参加していただき、協議会で何 が話されているのか、どういう連絡事項があるのか、国が何を考えているのか、等々の情 報を得るようにしてほしいとの発言があった。

4) その他

委員より、PDCAにおける目標設定時等において、がん診療連携拠点病院の指定要件を熟読し把握のうえ設定していただきたい。そのうえで、例えば単に医師が不足であるだけではなく、どの分野の医師が具体的に何名不足しているのか等の数字で示し、これらの情報を整理することにより有効な提言を行うことが可能になるとの意見があった。

羽渕部会長より、次回平成28年7月25日(月)開催の評価・改善部会からは、本山委員より評価・改善部会の部会長を務めていただきたいとの提案があり了承された。

以上により、平成28年度第1回評価・改善部会が終了した。

平成28年度第2回評価・改善部会

日時: 平成 28 年 7 月 25 日 (月) 15 時 00 分~17 時 00 分

場所:秋田大学医学部附属病院大会議室

報告事項

- 1) 各地域がん拠点病院等の診療機能、診療体制、診療実績、地域連携 活動、患者 QOL、患者満足度などの評価
 - 各施設からの概要報告 各施設2分x11施設
 - 今回は各項目に関する詳細報告は不要です。先に提出いただいた評価・改善部会アンケート回答に則り報告下さい。

審議事項(すべて協議会への提言を行うかどうかの協議です)

- 1) 国立がん研究センターによる施設別 5 大がん 5 年相対生存率の公表に伴う秋田県施設別部位別病期別 5 年相対生存率の公表について
- 2) 各施設の診療実績一覧の協議会 HP への公表について
 - 掲載例提示・県民に対する広報について
- 3) 協議会 HP への患者情報提供サイトの造設について
- 4) 在宅がん医療推進の司令塔となる組織について
 - 在宅医療研究会
- 5) 高度放射線治療体制の整備について
 - 自治医大卒業生進路の拡充について
- 6) 県統一ポスターの作成について
 - 例:がんで仕事を辞めるとすぐに宣言しないでください
 - 例: AYA 世代、希少がんに関するポスター

次期部会開催予定 (講演会付)

新しい検診システムについて

大腸検診: CT 検診 (大曲厚生)

膵癌検診:

(市立秋田)

平成28年度第2回、秋田県がん診療連携協議会

評価・改善部会議事要旨

開催日時;平成28年7月25日(月)15:00~17:10

開催場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者;別紙名簿のとおり

開催にあたり、本山部会長より資料の説明及び第2期秋田県がん対策推進計画の目標に対する進捗状況ついて説明があった。また、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会・がん登録部会の QI 研究及び、国立がん研究センターが実施した患者体験調査について説明があり、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会からのアンケート調査に対し、秋田県における課題として「放射線療法(高精度放射線治療)」、「緩和ケア(在宅がん医療体制)」を記載・提出したこと、全国的にも「放射線治療の体制」、「化学療法における連携強化」、「拠点病院における人材育成」などのテーマが取り上げられたことの説明があった。

次に、参加各施設より、当部会において実施した2回目のアンケート調査結果に基づいて①がん診療に対する大きな課題、②その解決策、③自施設の先進的な取り組み、④第3期秋田県がん対策推進計画に盛り込むべき秋田県全体の共通目標は何かについて説明があった。また、大きな課題としては、放射線治療について6施設、病理診断について3施設、在宅がん医療については1施設より記載があったこと、秋田県の課題としてがん検診受診率やがん治療成績の向上などであったことの説明があった。

放射線治療について、欧米に比べて日本では治療件数が少なく、患者の高齢化が進むにつれて低侵襲である放射線治療のニーズが増えてくるが、放射線治療に携わる医師が少ないという問題について、現在秋田県内では数名の放射線治療を希望する医師がいるが、自治医科大学出身医師は放射線治療医としての進路を希望しても9年間の義務年限終了後しかその進路を選択することが出来ない制度があるので、柔軟な対応を秋田県に要望することの可否について情報交換があった。

在宅緩和医療について、安藤委員より、在宅緩和医療にかかる勉強会は県内各地域で実施されており、各地域の実施項目を集計・集約し協議会として把握することは可能であり、必要であれば実施したいとの意見があり、協議会に提案することとなった。

本山部会長より、国立がん研究センターの施設別 5 大がん 5 年相対生存率(2008 年症例) の公表について、院内がん登録の予後判明率が 90%以上、部位別症例が 50 例以上の場合に 今年度中に生存率の公表が決定しているとの説明があった。また、高齢患者の割合が大き い場合や、ステージが進んでいる場合に生存率が不利になるため、秋田県においては独自 に作成している施設別部位別病期別 5 年相対生存率を協議会ホームページに公表し、病期

別になっていない国立がん研究センターの公表値に対し説明できる体制が必要であるとの提案があった。秋田県施設別部位別病期別5年相対生存率を協議会ホームページに公表することに対して賛成する施設の挙手を求めたところ、大多数の9施設から賛同を得た。

第1回評価・改善部会では各施設の得意分野をホームページに掲載するべきとの意見があったことを受けて、2014年症例「施設別手術症例件数」(評価改善部会資料頁 88)の協議会ホームページ掲載について提案があり、データ公表により特定の施設に患者が集中する不都合が生じないか、手術件数だけではなく資格を持った医師(専門医)が何人所属しているかなどのデータも重要であるとの意見があった。これに対し、専門医は種類が多く対応が難しいため今回は保留とすること、順番を表す着色は公表時には着色しないことの説明があり、採決の結果、委員の大多数が協議会ホームページへのデータ公表を協議会に諮るべきとの意見であった。また、公表を推し進めるべきとの意見が 5 施設、わからないが 4 施設、まだ時期が早いとの意見は 0 施設であり、この結果を協議会へ報告することとした。

協議会のホームページへ、患者さんがアクセスし易いような情報提供サイトを増設する 提案について了承された。

秋田県統一ポスターの作成について、「がんで仕事を辞めるとすぐに宣言しないでください」などのポスターを作成する方向で協議会へ提案することとなった。

検診出口調査の実施について、検診は市町村が実施しており、ドック(市町村以外の実施)ではこれまで県医師会で調査していたが4月からは実施していないため、協議会において調査を行うことは有効との意見があり、実施方法などについて検討することとなった。

次回、第3回評価・改善部会の開催予定について、本山部会長より11月くらいに中央地区(秋田大学医学部附属病院)で実施したい。その次は県南地区、その次は県北地区で開催をお願いしたい。また、第3回部会の内容については、膵癌について市立秋田総合病院より、CT大腸検診について大曲厚生医療センターよりお願いしたい。平日と土日では土日が好都合との意見が多かったので土日を中心に日程を調整したいとの発言があった。

委員より、部会の意義に関して質問があり、部会で行うアンケートには目標と評価方法 を入れて行くこととなった。また、今後は議題となる専門分野の職員よりオブザーバー参加して頂くことも検討して行くこととなった。

以上で、平成28年度第2回評価・改善部会が終了した。

平成28年度 第3回評価・改善部会

日時:平成28年12月3日(土) 13:30 ~ 17:00

場所:秋田大学医学部附属病院 第二病棟2階 多目的室

次 第

- 1. 開会
- 2. 部会長挨拶
- 3. 協議事項
 - (1) 活動目標について
 - (2) 施設別診療実績の公表について
 - (3) Quality Indicator 研究について
 - (4) 2011-2015 年秋田県院内がん登録解析結果について
 - (5) 今後のスケジュールについて
 - ・平成28年度第4回:平成29年2月(秋田県がん診療連携協議会開催日)
 - · 平成 29 年度第 1 回: 平成 29 年
- 4. 秋田県がん医療の課題に対する協議会構成施設の先進的な取り組みの紹介

【休憩】

5. 講演

「秋田県のがん対策を共に吟味しよう~目標の達成と、よりよい3次計画のために~」

- 6. 総合討論
- 7. 閉会

平成28年度第3回、秋田県がん診療連携協議会

評価 · 改善部会議事要旨

開催日時:平成28年12月3日(土)13:30~17:45

開催場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者:別紙名簿のとおり

◎開会、部会長挨拶

開催にあたり、本山部会長より本部会の成り立ちと役割について説明があった。

◎協議事項

(1)活動目標について

本山部会長より、本部会の使命と活動目標について説明があった。これに対し、意見を 求めたところ、各施設において持ち帰りのうえ2週間後程度までにメール等によりお知ら せ頂くこととなった。

(2)施設別診療実績の公表について

2014年データに関しては秋田県がん診療連携協議会(以下、協議会)の承認により公表したが、2015年データの公表についても提案があり、2014年と2015年のデータを協議会ホームページに掲載することについて了承された。

5 大がん施設別部位別相対生存率の公表については、現在国立がん研究センター(以下、国がん)において未公表のため、協議会では準備済であるがまだ公表していない。国がんで公表した場合は速やかに協議会でも公表することの説明があった。

(3) Quality Indicator 研究について

Quality Indicator 研究は、協議会の全ての施設が参加し、施設間の客観的な評価ツールとしたいので、未参加の 4 施設について是非参加して頂くように依頼があった。また、この研究の利点(解析の負担が少ない)及び欠点(信頼性に疑問が残る)の説明があった。

(4) 2011-2015 年秋田県院内がん登録解析結果について

院内がん登録 2015 年データの解析について、協議会所属 12 施設の解析であるが、データの整合性から 11 施設の解析結果を掲載していることの説明があった。また、年次推移・部位別推移・治療法(内視鏡・体腔鏡手術)について、秋田県受託研究により解析を行い、情報を共有し、対策を練ることが可能となっていることの説明があった。

(5) 今後のスケジュールについて

本部会の次回開催予定は、平成 29 年 2 月開催予定の協議会と同日に平成 28 年度第 4 回評価・改善部会を開催する予定であることの説明があった。また、平成 29 年度第 1 回評価・改善部会は、県南地区を代表して平鹿総合病院における開催が提案され承認された。

◎秋田県がん診療の課題に対する協議会構成施設の先進的な取り組みの紹介

○大曲厚生医療センター大村範幸先生より「大腸 CT 検査」についてご講演を頂いた。

大腸 CT 検査は、1994年に報告されているが、日本では2010年に臨床が開始され、大曲厚生医療センターでは2012年に導入していて、主に手術前の検査を消化器外科医が読影を行っているとの発表であった。検査方法は前処置後にCT 撮影を行い撮影後にワークステーションから3次元画像を構築し読影を行うものであるが、欧米ではかなり進んでいて、オランダでは腫瘤性病変の検出率は、受診率が低い大腸内視鏡検査よりも受診率が高い大腸 CT 検査の方が上回るとの報告があり、日本でも新たな指針に大腸 CT が記載されており今後普及が見込まれるとの内容であった。

○市立秋田総合病院、佐藤勤先生より「膵臓がん診療」についてご講演頂いた。

膵臓がんは5年生存率10%程度であり、病院受診後60%以上が半年以内に死亡するデータがある。膵臓がんには局所進行タイプと、遠隔転移タイプがあり、その頻度は7:3の割合で遠隔転移タイプの方が多い。遠隔転移タイプは進行が速く診療方法は化学療法のみであり生存率の落ち込みは遠隔転移タイプによるものが大きい。局所進行タイプは切除可能な場合があるが、血管を取込んで進行することが多く、術者の血管切除・再建の経験に左右されることもあるとの内容であった。

この発表に対し、診療実績の公表による可視化と、地域医療構想の討議により、部位別 診療の分散・集中等の政策シナリオが見えて来るのではないかとの意見があった。

◎講演

国際医療福祉大学大学院教授、埴岡健一先生より「秋田県のがん対策を共に吟味しよう~目標の達成と、よりよい3次計画のために~」と題してご講演頂いた。

始めに埴岡先生から各参加者へ質問があり、参加者一人ひとりが現在の状況についての 悩み・アイデア等について回答し、それぞれの回答に対して埴岡先生よりコメントがあっ た。更に、埴岡先生より、多くの問題は、現状を知り、可視化されたデータをヒントとし て、議論することが大切であるとの説明があった。

中には、健康診断の普及のように、他のモデルにおいて既にエビデンスがあり、実行すれば可能になるものがあるとの発言があった。

また、ロジックモデルシートによる検討がコミュニケーションツールとなることから、 ワークショップのような形で、秋田県がん対策推進計画の抜粋からロジックモデルシート を作成する演習も行われた。

以上により、平成28年度第3回評価・改善部会が終了した。

平成28年度 第4回評価・改善部会

日時:平成29年2月27日(月) 15:00 ~ 16:30

場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

次 第

- 1. 開会
- 2. 協議事項
 - (1) 議事要旨確認
 - (2) 秋田県がん死亡率改善率データの提供
 - (3) PDCA フォーラム参加報告(2月3日開催)
 - (4) 井岡亜希子氏による秋田県がん医療評価について
 - (5) 2009 年症例施設別がん 5 年相対生存率解析中間報告
 - (6) 第3期がん対策推進計画作成に関して
 - (7) PDCA サイクル評価シートに際しての県の共通目標(各部会共通目標の設定)
 - (8) 相互チェックの考え方について
- 3. 平成29年度第1回評価・改善部会の開催について
- 4. その他
- 5. 閉会

平成28年度第4回、秋田県がん診療連携協議会

評価・改善部会議事要旨

開催日時:平成29年2月27日(月)15:00~16:30

開催場所;秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者;別紙名簿のとおり

◎協議事項

(1) 議事要旨確認

前回の議事要旨「協議事項(1)活動目標について」に記載されている本部会の使命と活動 目標について、本山部会長より説明があった。

(2) 秋田県がん死亡率改善率データの提供

本山部会長より、国立がん研究センターから入手したデータを基に、徐々に低下していた秋田県のがん75歳未満年齢調整死亡率は2015年に上昇に転じ、最近10年の全がん死亡率の改善率は秋田県が全国で最も低かったことの報告があった。

(3) PDCA フォーラム参加報告(2月3日開催)

本山部会長より、平成29年2月3日に国立がん研究センターで実施された「平成28年度都道府県がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラム」へ参加したことの報告があった。その中でがん診療連携拠点病院等の整備に関する指針が示すPDCAサイクル確保の体制には、国立がん研究センターが中心となって行う全国レベルのPDCAサイクル、都道府県拠点病院が中心となって行う都道府県レベルのPDCAサイクル、そして各々の施設における拠点病院レベルのPDCAサイクルがあり、各病院レベルでのPDCAサイクルの実施が最も重要であるとの説明があった。

(4) 井岡亜希子氏による秋田県がん医療評価について

秋田県の第3期がん対策推進計画の策定に向けて、大阪府のがん対策推進計画作成に関係しておられた、井岡亜希子氏より第3者的な意見を頂いたことの説明があった。

(5) 2009 年症例施設別がん 5 年相対生存率解析中間報告

2008 年症例施設別がん 5 年相対生存率については当協議会において報告済みであり、国立がん研究センターにおいて施設別 5 年相対生存率を発表した場合には、秋田県においてステージ別の施設別 5 年相対生存率を秋田県がん診療連携協議会のホームページへ掲載する予定であったが、現在まだ国立がん研究センターのホームページに当該事項が掲載されていないことから協議会でも掲載していないことの説明があった。

2009 年症例施設別がん 5 年相対生存率については一部(胃がん・大腸がん)について解析が終了しているとの報告があった。その中で、国立がん研究センターでは予後判明率が 90%、症例数が 50 件以上を公表対象としているのに対し、秋田県では予後判明率は 80%、症例数は 20 件超を公表の対象としたいとの説明があった。

これらの施設別がん5年相対生存率について、国立がん研究センターにおいてホームページへ未公開の状況でも、秋田県において先行して協議会ホームページへ掲載しても良いかどうか協議の結果、秋田県において先行して掲載を実施したいことを評価・改善部会として、協議会へ提案することとなった。

(6) 第3期がん対策推進計画作成に関して

秋田県の第3期がん対策推進計画の策定にあたって、作成母体である秋田県の「健康づくり推進審議会、がん対策分科会」に対して、秋田県がん診療連携協議会及び第3者の意見として 井岡亜希子氏からの意見を積極的に提案して行きたいとの説明があった。

(7) PDCA サイクル評価シートに際しての県の共通目標(各部会共通目標の設定)

鳥取県の取り組みの中で、PDCA サイクル評価シートが使用されており、秋田県においても目標を明確にし、それに対する計画、実施項目、評価、改善を記載したうえで、事務局で一括保管することの提案があった。協議の結果、各作業部会及び各施設において PDCA サイクル評価シートを作成し、次回開催の部会までに事務局まで提出することとなった。

(8) 相互チェックの考え方について

相互評価の実施方法について、県拠点病院(秋田大学医学部附属病院)には指導の権限がないため、部会を秋田大学医学部附属病院以外において開催する際、開催施設より現状を発表してもらい、これを県拠点病院及び各拠点病院側が評価する形で相互評価とする意見と、発表会形式では良い面だけを発表してしまうので実情を見る必要があるとの意見があり、引き続き検討することとした。

◎平成29年度第1回評価・改善部会の開催について

本山部会長より、次回開催の部会について、県南地区を代表して、平鹿総合病院において実施することについて平鹿総合病院長より了解を頂いていることの報告があった。次回開催部会では、各施設から PDCA サイクル評価シートを提出してもらうこと、各施設から秋田県の第3期がん対策推進計画に掲載する事項を提出してもらうこと、開催病院からがん医療の現状及びPDCA 計画について発表をしてもらうことの提案があり、開催病院と相談のうえ進めることとなった。

また、次回の部会において、国立がん研究センターの QI 研究評価に関する取り纏めを行っている東尚弘先生より「QI 研究を利用したがん医療の質的評価(仮)」と題してご講演頂くことの提案があり了承された。その中でサブリーダーより、がん登録業務は国立がん研究センターの QI 研究と密接な関係があるので、県内のがん登録実務者の参加を呼びかけて欲しいとの意見があった。

以上で、平成28年度第4回評価・改善部会が終了した。

平成29年度秋田県がん診療連携協議会

第1回評価・改善部会次第

日 時 ; 平成29年7月15日(土) 14:00 ~ 17:15

場 所 ; JA 秋田厚生連、平鹿総合病院 2 階講堂

対象者 : 評価・改善部会 委員・サブリーダー

院内がん登録担当者、平鹿総合病院職員、患者団体、ほか

タイムスケジュール

第1部 14:00 ~ 14:30

- ○評価・改善部会
 - ・各施設における PDCA サイクル評価シートについて
 - ・第3期がん対策推進計画作成に関する討議

第2部 14:30 ~ 17:15

 $(14:30\sim16:00)$

- ○平鹿総合病院のがん医療の取組と今後の課題
 - ・化学療法について(約10分間) …… 柴田 勝弥(薬剤科副薬剤長)
 - ・放射線治療について(約10分間) …… 高橋 光幸(放射線科主任)
 - ・がん登録について(約10分間) …… 高橋 雅之(臨床検査科主任)
 - ・相談支援について(約10分間) …… 中田 琢也(医療福祉相談室)
 - ・緩和医療について(約10分間) …… 奥山 奈穂子(がん医療相談室)
 - ・地域連携パスについて(約10分間) … 大沢 知佳(地域医療連携室)
 - ・総括、総評(約20分間) …… 堀川 洋平(消化器・糖尿病内科)

 $(16:15\sim17:15)$

○講演会「QI研究を利用したがん医療の質的評価」

講師:国立がん研究センター がん登録センター長 東 尚弘 先生

平成29年度第1回、秋田県がん診療連携協議会

評価,改善部会議事要旨

開催日時:平成29年7月15日(土)14:00~17:45

開催場所;平鹿総合病院 講堂 出席者;別紙名簿のとおり

◎開会、部会長挨拶

開催にあたり、本山部会長より挨拶があった。

◎協議事項

・各施設における PDCA サイクル評価シートについて

本山部会長より、作業部会および各施設の Plan (計画) 部分の内容説明があった。引き続き Do (実行) Check (評価) Action (改善) への協力依頼および Plan (計画) 等を修正する場合は情報共有のため事務局にお知らせくださいとの発言があった。

・第3期がん対策推進計画作成に関する討議

本山部会長より、各施設から提出された要望の説明と施策・指標マップの紹介があった。また、机上配布資料(アンケート調査案の資料)について説明があり、第 3 期秋田県がん対策推進計画の策定および策定後の主観的評価を目的にがん患者およびその家族と医療従事者を対象としたアンケート調査を実施し、各施設長宛てに依頼文書を送付しますのでご協力方お願いしますとの依頼があった。

◎講演

「平鹿総合病院のがん医療の取組と今後の課題」と題して、開催に協力いただいた平鹿総合病院長より挨拶があった。7部門(化学療法、放射線治療、がん登録、相談支援、緩和医療、地域連携パス)からの発表があり、最後に全体総評、今後の課題について総括いただいた。

また、「QI 研究を利用したがん医療の質的評価」と題して、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長の東尚弘氏よりご講演いただいた。

委員より、診療ガイドラインを作成し、ガイドライン発行前と後を評価したい場合、ガイドラインの作成者側から QI 研究実施者に対し、調査項目を提案することは可能かとの質問があった。講師より積極的活用が望ましいことからご提案いただきたいとの返答があった。

委員より、標準診療を行わない「未実施理由」について、自施設との比較や臨床判断に有用であることから年度単位や診療ガイドライン変更時などリアルタイムでの公開を希望するとの意見があった。講師より「がん登録部会 Quality Indicator 研究解析結果報告書」に掲載予定としているが、リアルタイムでの公開については自由記載が多く判断に時間を要するため容易ではないとの返答があった。

以上により、平成29年度第1回評価・改善部会が終了した。

平成29年度第2回評価・改善部会

日時:平成29年9月11日(月) 14:15 ~ 15:45

場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

次 第

- 1. 開会
- 2. 協議事項
 - ・第3期秋田県がん対策推進計画への提言について
- 3. その他
 - ・次回部会の日程について

日時:平成29年12月2日(土) 14:00~17:00

場所:秋田赤十字病院

4. 閉会

平成29年度第2回、秋田県がん診療連携協議会

評価 · 改善部会議事要旨

開催日時:平成29年9月11日(月)14:15~15:45

開催場所:秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者;別紙名簿のとおり

1. 開会

本山部会長より開会の挨拶があり、前回評価・改善部会の議事要旨について変更点等があればお知らせくださいとの依頼があった。

2. 協議事項

○第3期秋田県がん対策推進計画への提言について

当日配布資料により、秋田県のがん死亡率の減少に係る目標値について、現在のがん対策によるがん死亡率の減少にさらに10%上乗せしたことの説明があり、10%の内訳としては受動 喫煙防止などのたばこ対策とがんの早期発見が重要であるとの内容であった。

次に、事前に目通ししておくように通知があった資料;「統計でみる秋田県のがん-第3期秋田県がん対策推進計画への提言-」により、分野別施策の概要や施策・指標マップで示された「A分野アウトカム」、「B中間アウトカム」、「C個別施策」について以下の説明があった。(1)科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

・「がんの予防」

受動喫煙防止対策の推進、喫煙者による禁煙外来受診割合の増加、喫煙者に対するタバコと 禁煙に関する正しい知識の伝達、肝炎ウィルス陽性者への受診勧奨、問題のある飲酒(1日 3合以上)対策

・「がんの早期発見」

科学的根拠に基づいた検診の実施体制の整備、検診精度管理の向上及び精密検査体制の充実、 コールリコールの実施等検診率の増加

(2)患者本位のがん医療の実現

・「がん医療と人材育成」

放射線治療における IMRT 実施件数の増加

- ・「地域の医療提供体制・在宅医療の推進」 5年相対生存率や拠点病院等における主治療力バー率の向上
- 「緩和ケアの推進」

痛みのスクリーニングについて客観的なモニタリングはハードルが高く、アンケート調査による主観的なモニタリングを実施したい

「ライフステージに応じたがん対策」

小児・AYA 世代・高齢者などのライフステージに応じたがん対策について、例えばリンパ腫や白血病においては小児科医と内科医の間に難治性や予後良好の観点に差異が認められるため、治療内容の統一が進められている

- (3)尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
- 「相談支援及び情報提供体制の推進」

がん相談支援センターは拠点病院にとって必須であり、既に多くの利用者があるが業務範囲が広く評価は難しい面があるので、患者さんからの主観的なアンケートを実施して指標としたい

- ・「がん患者の就労を含めた社会的な問題」 がん患者さんの経済的負担軽減、仕事と治療の両立を支援(拠点病院に社会保険労務士を配 置するなど)、がんとがん患者への理解(偏見をなくすための教育やイベントを行う)
- ・「がんの教育・普及啓発」 教育長マターではあるが、小学校・中学校・高校における「がん教育」を推進させる (4)これらを支える基盤整備
- ・「モニタリング体制の充実」 がん対策の規格と評価に必要なデータベースの構築(主観指標関連データを収集するために 患者・家族に対する調査と医療従事者に対する調査を実施する)
- ・「既存資料の分析のための体制整備」 既存資料(人口動態統計、秋田県がん登録資料、現況報告等)の分析調査
- ・「既存資料の公表のための体制整備」 秋田県及び秋田県総合保険事業団と共にがん登録情報を中心とした様々ながん情報を積極 的に公表する
- ・「がん研究」 市民の目線で、研究成果に対し簡単にアクセスできる体制を整える

これらの施策・指標に数字が黒丸で表示されている部分については、今後予定している患者 さんや医療スタッフに対するアンケート調査により具体的な数字を入れて行きたい。また、施 策・指標マップでは「A 分野アウトカム」,「B 中間アウトカム」,「C 個別施策」の順に見ると 見易く、アクションプランはタイムスケジュールの様なものであることの説明があった。

また、委員より次のような意見があった。

- (イ) 禁煙に関してはこれまで既に努力を重ねており今後は条例の設置が必要である。
- (1) 検診は若い人の未受診が目立つため年齢に応じた受診率算出も検討するべきである。
- (N) 検診の受診者は例えばコンサートのチケットが貰えるなどの、驚くようなインセンティブを与えるシステムが必要である。
- (二)検診受診率の数字は県で把握している数字と異なるため出典を確認する必要がある。
- (ホ) 院内図書館ではなく、大きな町の図書館でのがん医療コーナー設置が有効である。
- (4) 100%検診が実施された場合に医療者の体制が心許ないので短期的には対象者の絞り込みが必要ではないか。
- (ト) カバー率が低いがん種では拠点病院以外でがんとは分からずに死亡しているケースも多いのではないか。
- (チ) がん患者さんの就労支援では、ハローワークとの連携・協調が重要である。

本山部会長より前回の部会においては平鹿総合病院からご尽力いただき開催されたこと、及び秋田赤十字病院委員より次回は平成29年12月2日(土)午後から、秋田赤十字病院において開催され東北大学緩和医療学分野教授、井上彰先生からご講演を頂く予定であることの報告があった。

以上で、平成29年度第2回評価・改善部会が終了した。

平成29年度秋田県がん診療連携協議会

第3回評価・改善部会及びがん診療機能強化研修会

日 時 ; 平成29年12月2日(土) 14:00 ~ 17:00

場 所 ; 秋田赤十字病院 多目的ホール

対象者 ; 評価・改善部会委員とサブリーダー、秋田赤十字病院職員、他

プログラム

- 1. 開会の挨拶 秋田赤十字病院 院長 小棚木 均
- 2. 第1部 14:00 ~ 14:30

○評価・改善部会

3. 第2部 14:30 ~ 17:00

 $(14:30\sim15:50)$

- ○秋田赤十字病院のがん診療の取組と今後の課題
 - ~第3期がん対策推進基本計画における拠点病院の役割~
 - ・はじめに …… 黒川 博一(がん診療統括委員会)
 - ・化学療法 ……… 藤原 朋未 (がん化学療法看護認定看護師)
 - ・がん登録 …… 宮崎 真季 (医療情報管理課主事)
 - ・相談支援 ……… 川原 明子(がん相談専従看護師)
 - · 地域連携 …… 水澤 彰人(地域医療連携課長)
 - ・緩和ケア …… 小松田 智也(緩和ケア内科部長)
 - ・総括、総評 …… 黒川 博一(がん診療統括委員会)

$(16:00\sim17:00)$

- ○基調講演「東北地区における肺癌診療と緩和ケアの現状と課題」
 - 講師:東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野教授 井上 彰 先生
- 4. 閉会の挨拶 評価・改善部会長 本山 悟

平成 29 年度秋田県がん診療連携協議会 第 3 回評価・改善部会次第

議題

- 1. 第3期秋田県がん対策推進計画に係わる患者および医療従事者に対するアンケート調査について
- 2. 第3期秋田県がん対策推進計画(案)について
- 3. 日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーターについて
- 4. その他

平成29年度第3回秋田県がん診療連携協議会

評価 · 改善部会議事要旨

開催日時;平成29年12月2日(土)14:00~14:30

開催場所:秋田赤十字病院 多目的ホール

出席者;別紙名簿のとおり

1. 開会

開会にあたり、開催に協力いただいた秋田赤十字病院長より挨拶があった。

2. 協議事項

本山部会長より、資料に基づき議題に沿って説明があった。

● 第3期秋田県がん対策推進計画に係わる患者および医療従事者に対するアンケート調査について

本アンケート調査結果の回答数、回答率の報告があり、結果を解析したのち、第3期秋 田県がん対策推進計画に反映するとの発言があった。

● 第3期秋田県がん対策推進計画(案)について

秋田県より作成された本計画の素案について、協議会からの提言内容が十分に反映されているとの報告があった。既に施設長宛てに発送されているので内容を確認するよう発言があり、必要であれば当部会委員宛にも発送するのでご連絡くださいとのお知らせがあった。

● 日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーターについて

日本癌治療学会が新たに運用を開始し、地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集および提供することを主な目的とし、がん相談員の妹分・弟分の人材育成する制度であるとの概要説明があった。今後拠点病院等へ協力要請が予想されるとの情報提供があった。

その他

本山部会長より、配付資料「平成 29 年第 3 回評価・改善部会アンケート調査票」について、評価の管理を目的にアンケート調査を実施するので、1 施設につき 1 枚ご回答くださいとの依頼があった。

秋田県より、第3期秋田県がん対策推進計画(素案)について、進捗状況報告があった。 今後は平成30年1月にパブリックコメントを行い、2月に審議会を開催し、3月末には策 定予定であるとの発言があった。

3. 講演

「秋田赤十字病院のがん医療の取組と今後の課題~第3期がん対策推進計画における拠点病院の役割~」と題して、秋田赤十字病院の黒川委員より挨拶があった。5部門(化学療法、がん登録、相談支援、地域連携、緩和ケア)からの発表があり、最後に全体総評、今後の課題について総括いただいた。

また、「東北地区における肺癌診療と緩和ケアの現状と課題」と題して、東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野教授 井上彰先生よりご講演いただいた。

以上により、平成29年度第3回評価・改善部会が終了した。

秋田県がん診療連携協議会 PDCAサイクル評価シート 平成29年度

施設名;

評価項目 1		
2		
3		

	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検・評価)(I ─I V)*	Act(対策・改善)
1				
2				
3				

*評価基準 Ⅳ: 計画を上回る, Ⅲ: 計画どおり, Ⅱ: 計画を下回る, I: 計画を大幅に下回る若しくは未実施

(注)「評価項目」及び「Plan(計画)」についてご記入(評価項目は1項目以上とする)のうえ、平成29年6月23日(金)までに 秋田県がん診療連携協議会事務局宛にご提出ください。